

保護者様

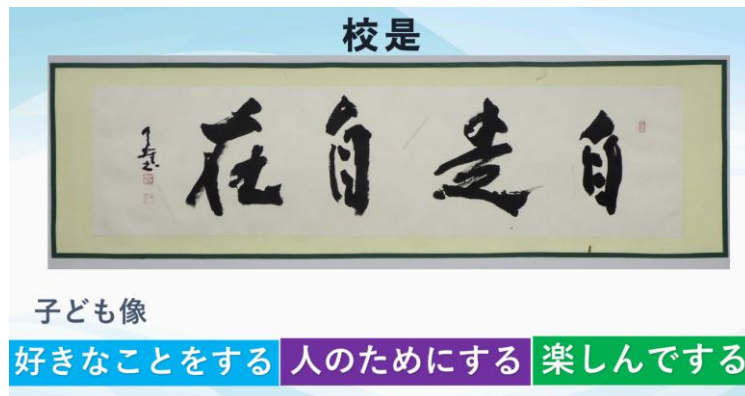
京都市立岩倉北小学校

校長 五反 辰彦

## 令和7年度 第2回学校評価について

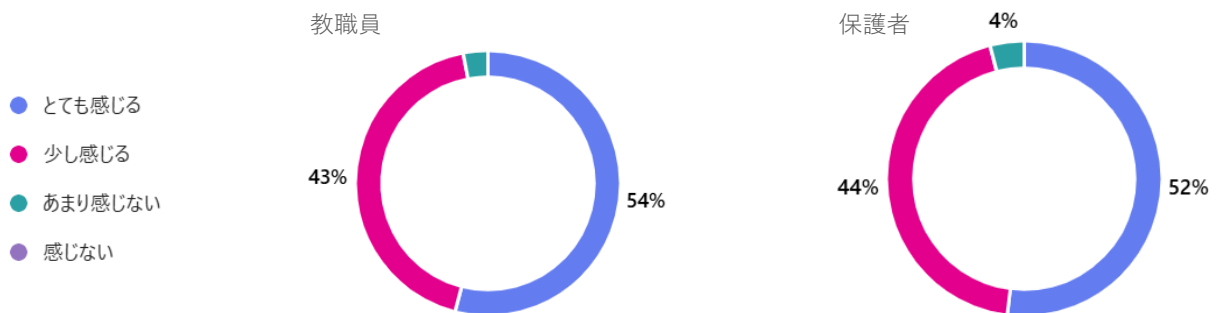
本校教育活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和7年度第2回学校評価に関するアンケートの結果をご報告いたします。いただいたご意見をもとに、よりよい学校づくりに向けて、取り組みを進めて参ります。ご高覧いただけますと幸いです。

### 1 学校教育目標について



#### 保護者の方からのご意見

2. 岩倉北小学校の校是（教育理念）「自走自在」に向けて、今年度、子ども（たち）が自走自在する様子をどの程度感じていますか

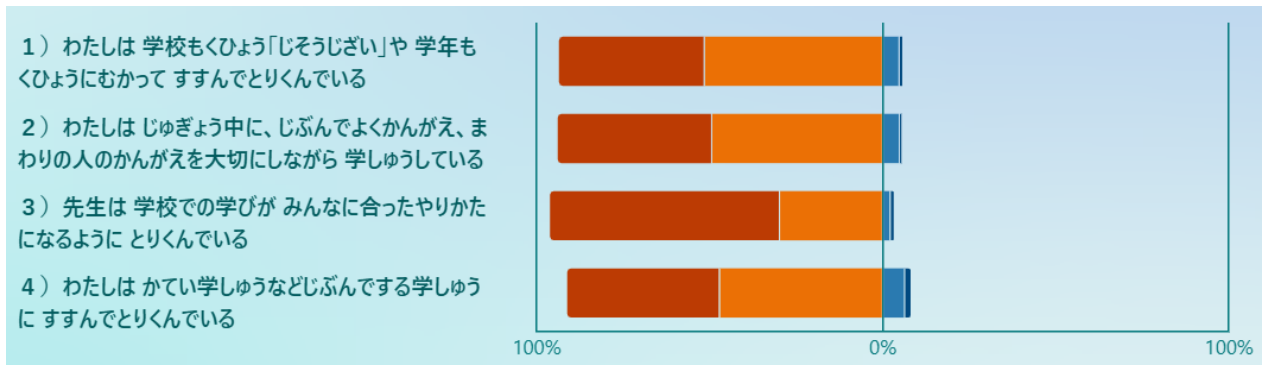


- ・子どもが好きなことを楽しみ、人のために行動する姿が見られ、理念がよく表れている。
- ・行事や係活動を通じ、自ら考えて動く力が育っていると感じる。
- ・低学年では、自立には年齢に応じた支援や見守りが必要との声も。
- ・家庭でも理念に沿って関わりたいという意見があり、学校との連携を求める声がみられた。

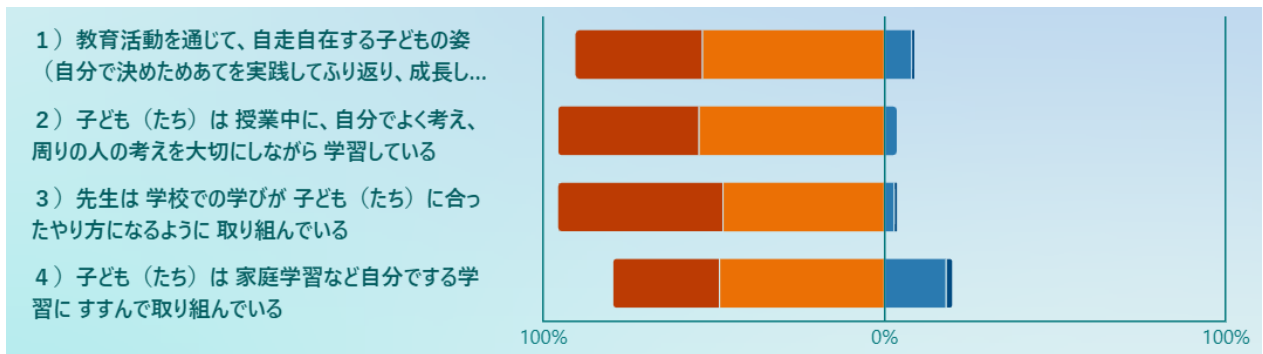
## 2 「確かな学力」の育成に向けて

■ そう思う    ■ まあまあ そう思う    ■ あまり そう思わない    ■ そう思わない

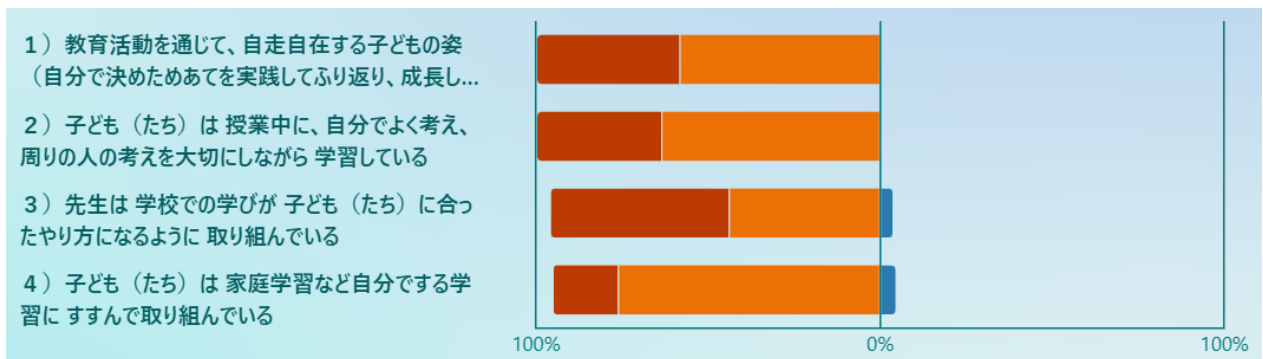
### 児童



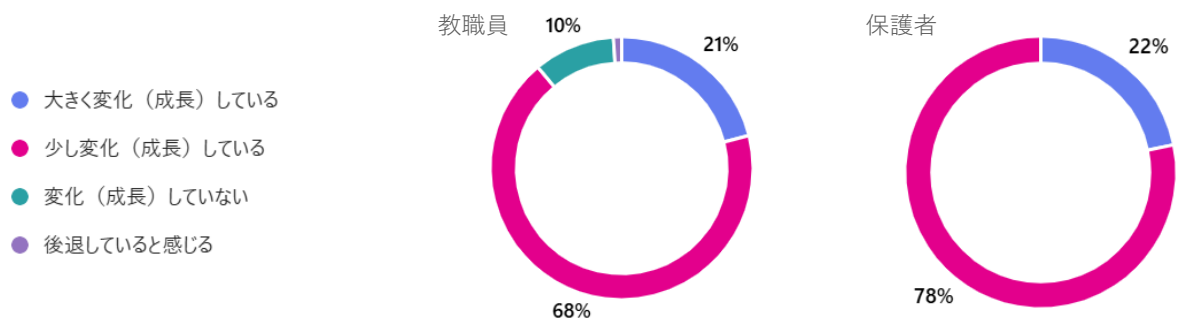
### 保護者



### 教職員



4. 子ども（たち）が主体的に学ぶ姿（授業や家庭学習）に変化を感じていますか



## 保護者の方からのご意見

### 【成果】

- ・放課後まなび教室や補習など、個別の学習支援に対する感謝が多く寄せられた。
- ・学習が「楽しい」「わかりやすい」と感じる児童の声が多く、授業改善の成果が見られた。
- ・算数プリントや家庭で取り組める自主学习プリントが役立ったとの意見が多かった。

### 【課題】

- ・家庭学習の支援が必要な家庭では、何をどのように学習すればよいか迷うという声があった。
- ・タブレット学習については、メリットを感じる声と同時に「慎重に使ってほしい」という不安の声も存在した。

## 学校の取り組み

授業では、「めあて」や「ふり返し」を通して自分の学びを可視化し、自己理解を深められるような教育活動を目指してきました。また、子どもたちの「わかる」「できる」を支えるため、スモールステップで取り組むスキルアップタイムも実施しました。

来年度は、算数では考え方やその過程を言葉で説明し記録する活動を強化し、思考を可視化しながら学べるように取り組みます。タブレットの活用については、健康面と学力面の双方をふまえ、目的をしぼって適切に使用するよう工夫します。

家庭学習においては、子ども自身が計画を意識したり、設定したテーマや目標に向けて学習を進めたりする姿が見られました。一方で、「何をどのようにすればよいか迷う」という声もあり、学校としても家庭学習の改善の必要性を感じていました。

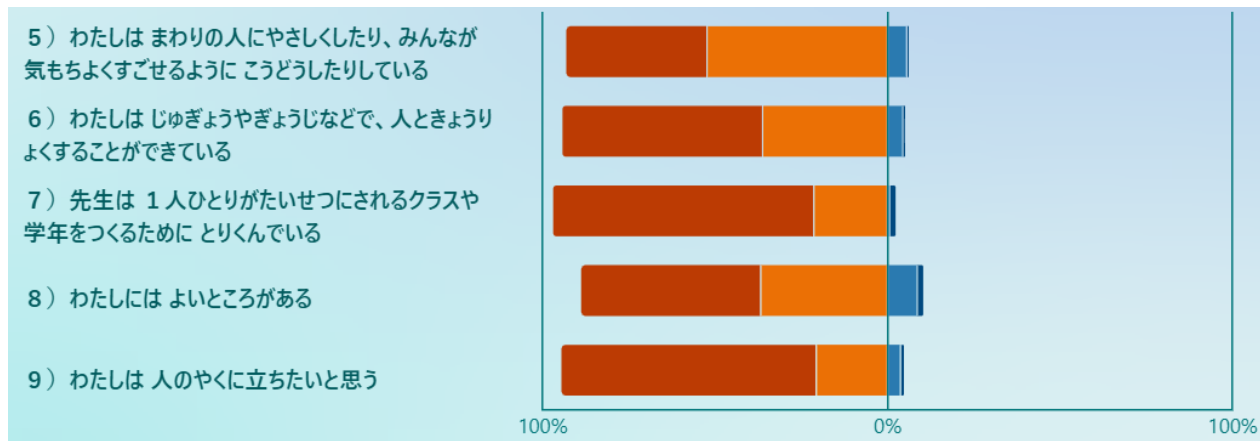
そこで、計算・漢字・短い要約など、短時間で取り組めて効果の高い学習メニューを明確にし、スキルアップタイム等で、負担なく継続できる形を整えたいと考えています。また、発達段階に応じてどのような姿を目指すのか話し合う機会を設けました。その内容を活かし、来年度も子どもたちが家庭学習においてもより主体的に「自走」できるよう取り組みを進めてまいります。

また、幼稚園・保育園から小学校への円滑な接続をめざす「架け橋プログラム」の充実にも取り組んでいます。今年度は新しい試みとして、1月に「架け橋参観」を実施し、就学児の保護者の皆様に学校の様子をご覧いただく機会を設けました。来年度は、時間設定や周知方法を改善し、より多くの保護者の皆様にご来校いただけるよう努めてまいります。

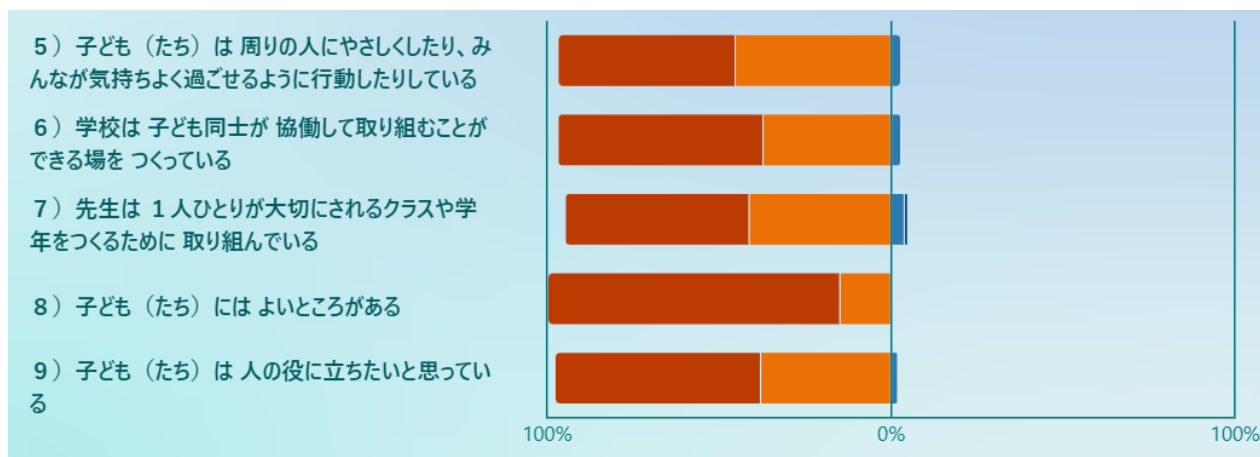
### 3 「豊かな心」の育成に向けて

#### 児童

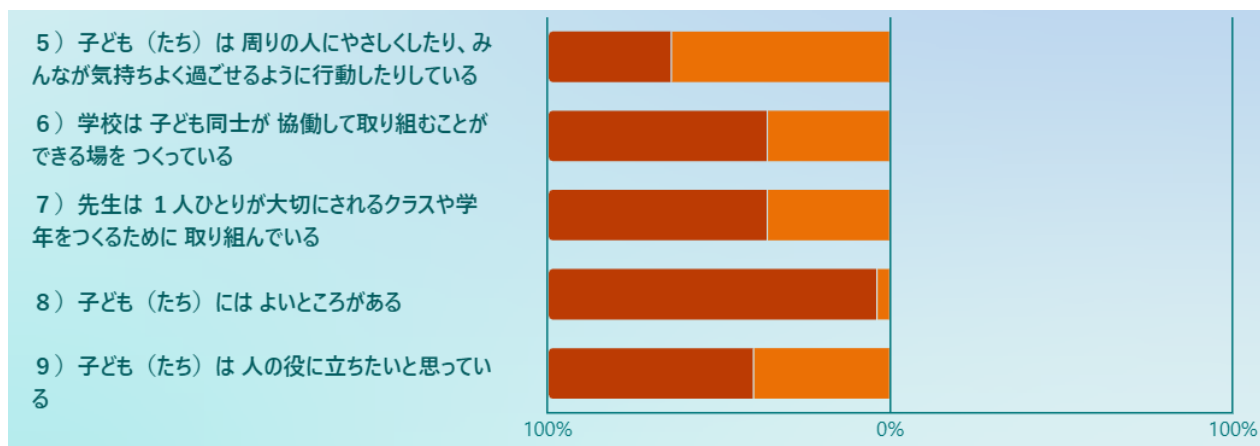
■ そう思う    ■ まあまあ そう思う    ■ あまり そう思わない    ■ そう思わない



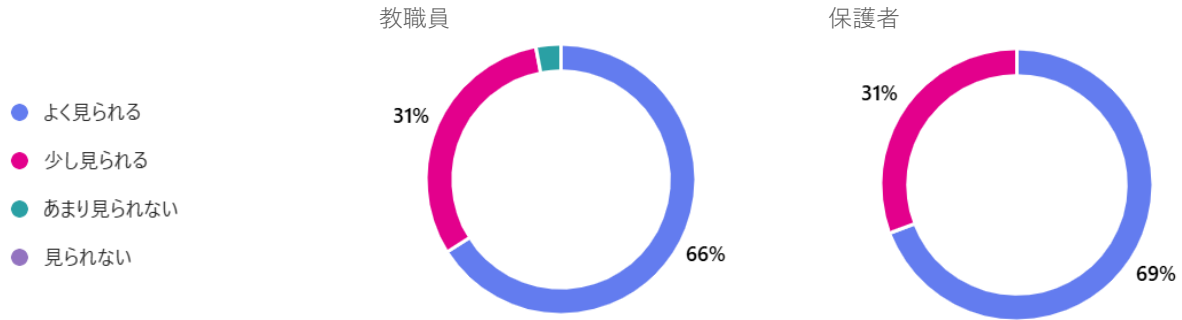
#### 保護者



#### 教職員



6. 子ども（たち）が人にやさしくしたり、協力したりする姿は見られますか



保護者の方からのご意見

【成果】

- ・縦割り活動を通して、上級生が下級生を思いやる姿が多く見られた。
- ・「褒められたことが嬉しかった」という児童の声を聞き、保護者からも「自己肯定感が育っている」との評価が多かった。
- ・友だちの成功を自分のことのように喜ぶなど、共感性の高まりが家庭でも見られた。

【課題】

- ・活動に積極的に参加する児童が多い一方、低学年では負担を感じる児童も一部いるとの声があった。
- ・SNS や言葉の扱いに関する不安が保護者から寄せられた。

学校の取り組み

今年度も、さまざまな学校行事を通して、子どもたちが「やり遂げた」という直接的な達成感を味わい、自己効力感を高められるよう取り組んできました。運動会や学習発表会での姿からも、子どもたちが自信をもって活動している様子を感じていただけたのではないかと思います。宿泊学習では、子ども自身が自分の役割を果たすことで、仲間のためにできることを考える機会となりました。そこで得られた経験を日々の学校生活でも生かそうとする姿が多く見られています。ただ、こうした力を学習の場でも十分に発揮できるようにするためには、教師がその良さを逃さず価値づけることがより重要であると感じています。

たてわり活動では、5・6年生の「イワスタメンバー」が中心となり、学校生活を大きく支えてくれました。低学年とのかかわりに悩む場面もありましたが、やさしく、根気強く向き合う姿が印象的でした。来年度の活動は学年に応じて段階化し、低学年でも安心して参加できるよう、活動内容や委員会の横のつながりを意識する必要があると考えています。

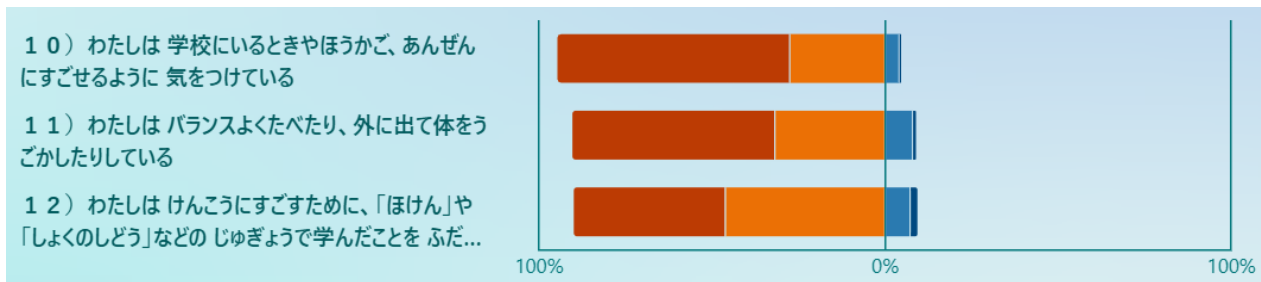
また、SNS に関するトラブルを未然に防ぐため、来年度は、情報モラル教育の実施時期を計画的に取り入れることとしました。子どもたちが安全に、安心して ICT に向き合えるよう指導を重ねていきます。

今後も、子どもたちが互いを認め合い、励まし合いながら成長できる環境づくりを大切に、主体的に活動できる場を学校全体で支えていきます。

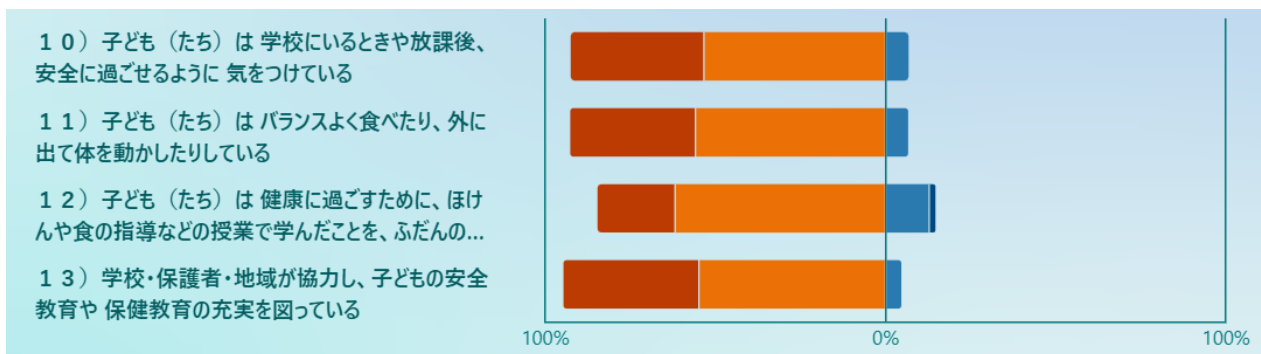
## 4 「健やかな体」の育成に向けて

### 児童

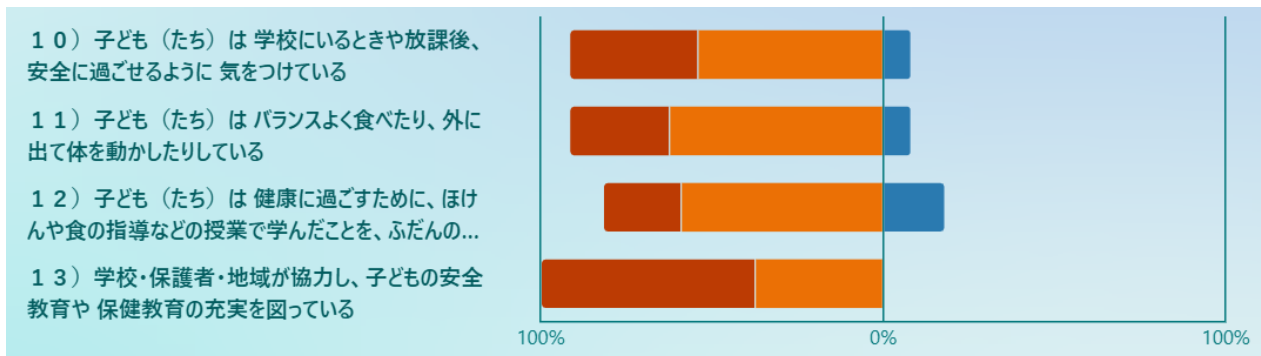
■ そう思う    ■ まあまあ そう思う    ■ あまり そう思わない    ■ そう思わない



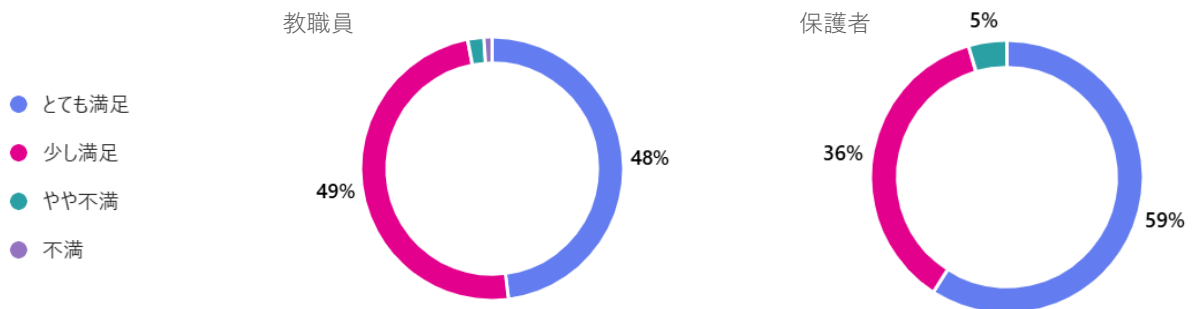
### 保護者



### 教職員



### 8. 学校や家庭での安全・健康に関する取組に満足していますか



## 保護者の方からのご意見

### 【成果】

- ・見守り活動や防災訓練など、安全に関する学校の取り組みへの評価が寄せられた。
- ・身体を動かす活動、行事などに児童が意欲的に取り組んでいることを評価する声が多かった。

### 【課題】

- ・給食に関する量や品質のばらつきについて複数の意見があった。
- ・生活習慣（睡眠・スクリーンタイムなど）について課題を抱える児童がいるとの声があった。
- ・自転車ヘルメットの着用や交通安全への不安が一部保護者から寄せられた。

## 学校の取り組み

今年度も、学校・家庭・地域が協力しながら、子どもたちの安全な登下校のための見守り活動を続けてきました。登校時間（8:10～8:30）を守って登校できている児童が多い一方で、早すぎる時間に来てしまったり、チャイムが鳴ってから到着したりする姿も見られます。安全に学校生活を送るためにも、毎日の生活リズムを整え、登校時間を守って登校できるよう、引き続きご家庭でのサポートをお願いします。

安全面では、次年度より東門（青門）を閉門することを決定しました。地域の状況を踏まえた判断にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

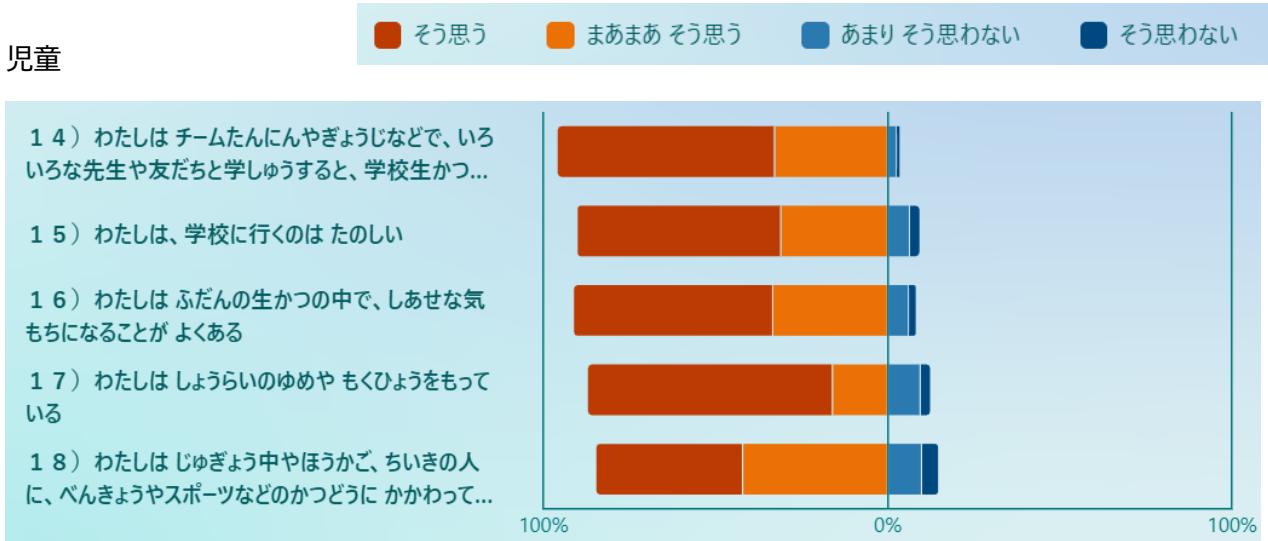
生活面については、低学年を中心に規則正しい生活習慣が身につけてきていますが、高学年では夜更かしや睡眠不足の傾向も見られます。学期ごとに生活習慣のセルフチェックを行い、ご家庭と一緒に改善へ向けて取り組んでいきたいと考えています。

また、交通安全に関する課題として、自転車ヘルメットの非着用が一定数見られました。本校では自転車教室をさらに充実させるため、自転車に乗りなれてきた3年生に前倒して実施することとしました。

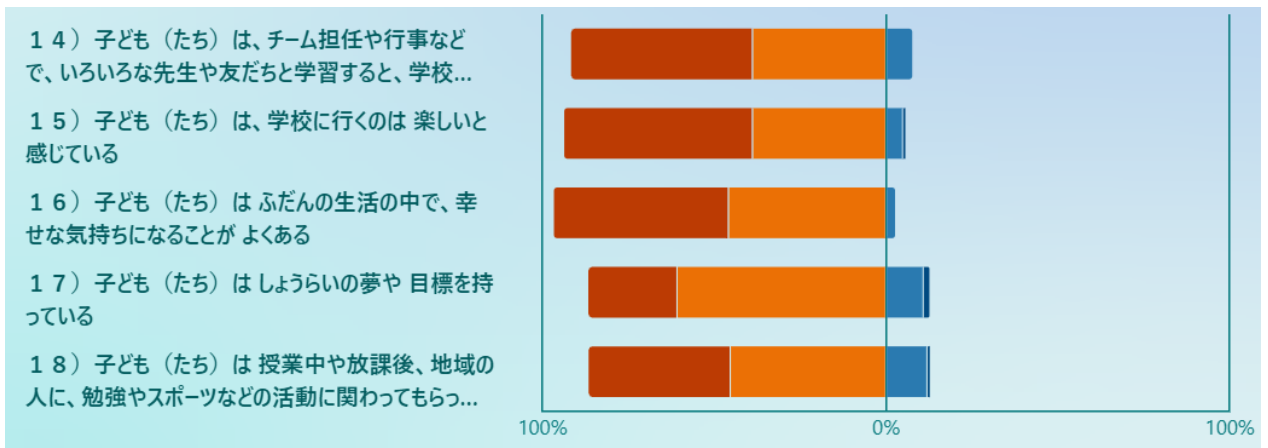
給食については、最近の配膳量のばらつきなどについて、保護者の方からご意見をいただきました。学校としても校内で点検を行い、必要に応じて改善に努めてまいります。

## 5 学校の取組に関して

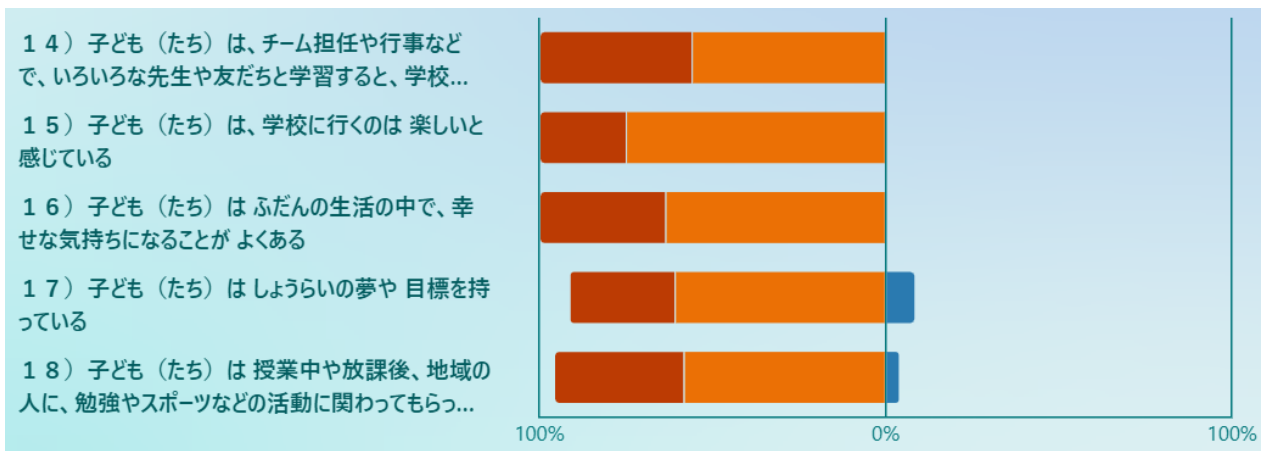
### 自己有用感に関する項目



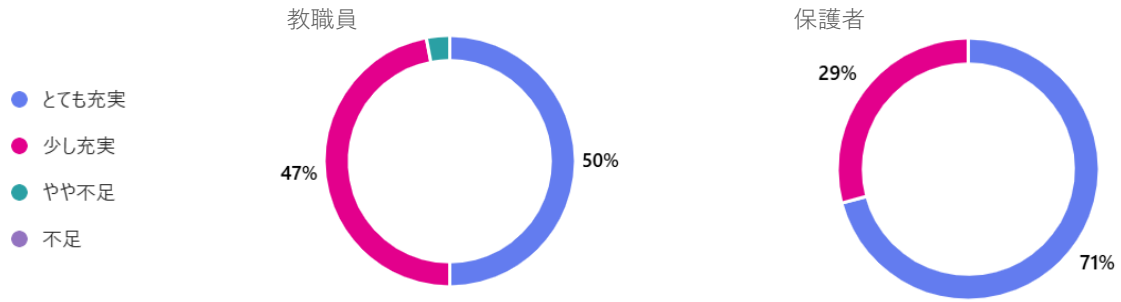
### 保護者



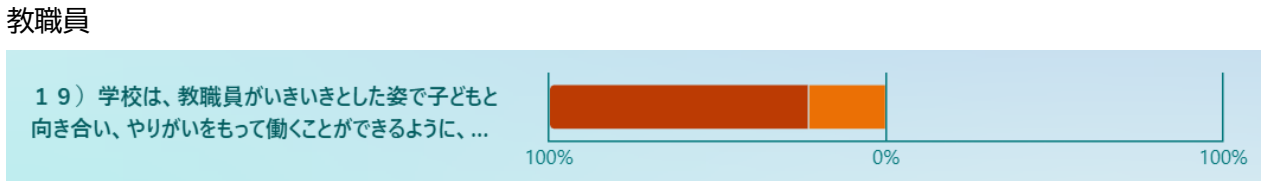
### 教職員



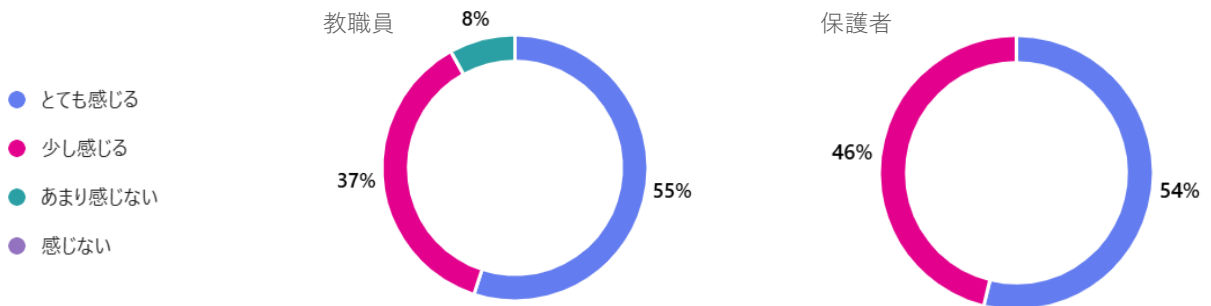
10. 学校と保護者・地域の連携は充実していると思いますか



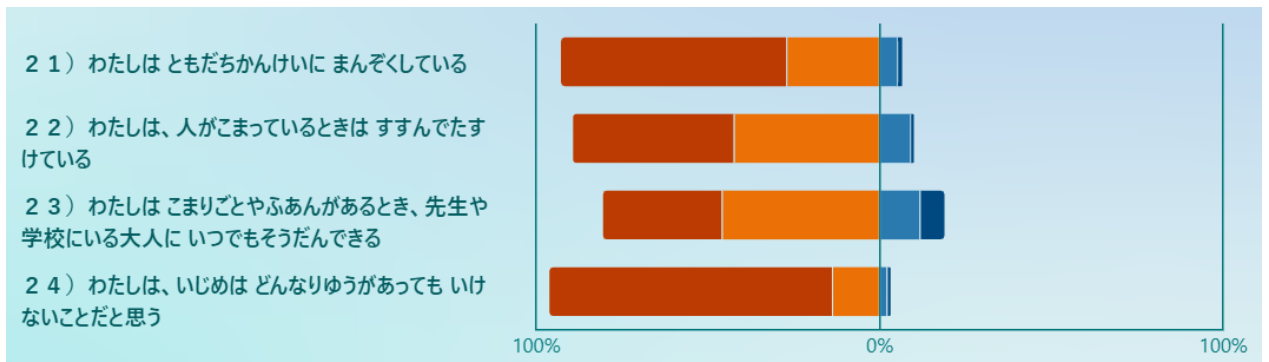
## 教職員の働き方改革について



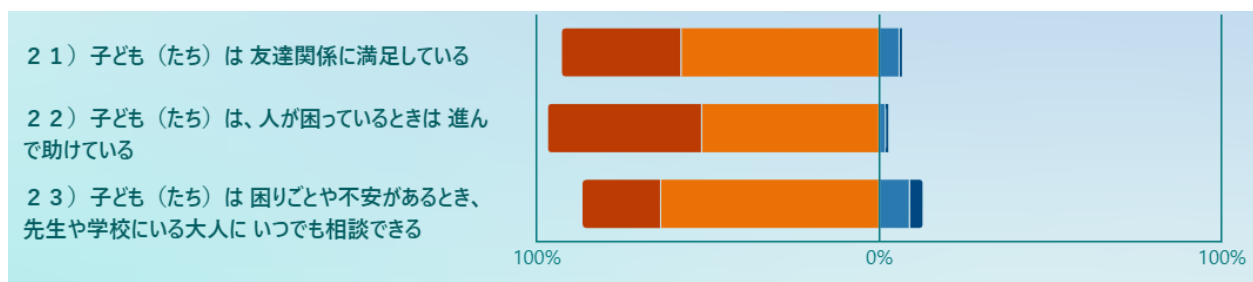
12. 教職員がいきいきと働いている様子を感じますか



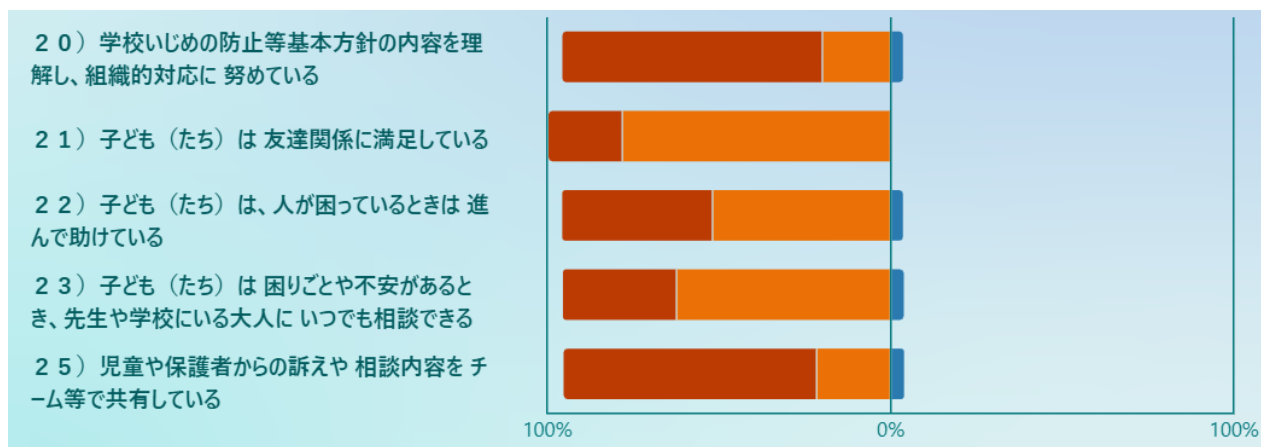
## いじめの防止等についての取組に向けて



## 保護者



## 教職員



### 保護者の方からのご意見

#### ① 学校・保護者・地域とのつながりに関すること

##### 【成果】

- ・読み聞かせや地域の講師による体験活動など、多様な学びが提供されていることが高く評価された。
- ・運動会や参観での教員の熱心な姿に感謝する声が多かった。
- ・子どもが学校を楽しんで通っているという声が多く、安心感をもって任せられるとの意見が目立った。

##### 【課題】

- ・参観の内容について、「活動の意図やねらいが分かりにくい」との声があった。
- ・PTAや地域活動では、参加者の負担が偏りがちとの指摘があった。

#### ② 教職員の働き方改革について

##### 【成果】

- ・チーム担任制により、複数の教員が子どもを見守ってくれているという安心感が保護者から寄せられた。
- ・教員が熱心に指導してくれていることへの感謝の声が多数あった。

##### 【課題】

- ・電話対応時間や連絡手段が分かりにくい、との声があった。
- ・参観や学習発表の際に「何を見せられているのか分からない」という意見が一部あった。

#### ③ いじめの防止等についての取組に向けて

##### 【成果】

- ・友だちとの関係が良好で、学校生活を楽しんでいる児童が多いという安心感が保護者から寄せられた。
- ・人権教育や全校劇が「分かりやすく良い」と好評価を得ている。

##### 【課題】

- ・ SNS や言葉の使い方に関する不安、仲間外れなどへの心配が挙げられた。
- ・ 相談しにくさを感じている児童がいるのではないかと保護者の懸念が見られた。

## 学校の取り組み

本校では、子どもたちが多様な経験を通して成長できるよう、地域の皆様と連携した活動に力を入れてきました。読み聞かせや栽培活動、茶道体験など、地域の方々に関わる機会が増えたことで、子どもたちの視野が広がり、「多くの大人に見守られている安心感がある」という声を保護者の方からもいただいています。

また、チーム担任制は、複数の教員が子どもたちを見守り、相談しやすい環境であると評価をいただいています。今後は、学年や児童の実態に応じて柔軟に運用し、学習の質と学級・学年経営の安定をさらに高めていきます。

放課後の活動では、地域サークルや「放課後まなび教室」などの学びが広がっています。来年度は、年間計画をわかりやすく提示できるように工夫していきます。

一方で、学校への連絡手段が限られているというご意見もいただきました。電話対応に加えて、「すぐー」の活用方法など使い方の提示を行います。

また、教職員が授業準備に集中できるようにと応援のご意見もいただきました。外部委託できることについては、校内で検討し、時間の確保にも取り組んでいきます。

子どもたちの心の面では、友だち関係に満足しているという回答が多かった一方、「いつでも相談できる」と感じていない児童も一定数いました。来年度は、相談しやすい環境づくりを進めるため、スクールカウンセラーや養護教諭とも連携して進めてまいります。また、SNS でのトラブルや仲間外れに関する不安も寄せられたため、情報モラル教育は、年間を通して指導する計画を立てております。

引き続き、子どもたちが安心して学校生活を送り、地域の方々に見守られながら成長できる環境を大切にまいります。